

<参 考>

愛知の夏秋トマト

1 県内の夏秋トマト（夏のトマト）の生産状況

トマトは、出荷時期により冬春トマト（12月～6月出荷）と夏秋トマト（7月～11月出荷）に区分されています。愛知県は全国でも有数のトマトの産地であり、主に冬春トマトが栽培されていますが、奥三河地域（新城市、設楽町、豊根村）は夏の冷涼な気候を活かし、真夏にトマトを出荷する県内唯一の産地です。

奥三河地域の夏秋トマトの作付面積は11.4ヘクタール、出荷量は1,316トンで、主に名古屋市、浜松市へ出荷されています。（表1）

表1 県内の夏秋トマト生産出荷状況（平成27年産）

市町村名	作付面積	出荷量
新城市	4.0 ha	461 トン
設楽町	6.9 ha	813 トン
豊根村	0.5 ha	43 トン
3市町村計	11.4 ha	1,316 トン



（出典：JA愛知東調べ）

2 奥三河地域のトマトの特徴

奥三河地域では昭和46年頃からトマトの栽培が始まりました。標高500m以上の高原で、夏でも冷涼で昼夜の気温差があるため、旨みが凝縮され、甘味と酸味のバランスと香りが良いことが特徴です。

主な栽培品種は「りんか」と県農業総合試験場及び㈱サカタのタネが共同で育成した「あいさか2号（商品名：ルネッサンス）」で、特に「ルネッサンス」は食品スーパーでの取り扱いが少ないため「幻のトマト」と呼ばれています。

3 愛知県のトマト生産について

本県の作付面積は511ヘクタールで**全国5位**、そのうち108ヘクタール（21%）で夏秋トマトが生産されています。トマト全体の出荷量は38,200トンで**全国5位**、産出額は147億円で**全国3位**となっています（表2）。

表2 愛知県産トマトの生産出荷状況（平成27年産）

項目	本県産の状況	全国シェア	全国順位	うち夏秋トマト※1
				本県産の状況
作付面積	511ha	4.2%	5位	108ha
出荷量	38,200トン	5.8%	5位	3,430トン
産出額※2	147億円	6.7%	3位	—

（出典：作物統計、生産農業所得統計）

※1 夏秋トマト：7月から11月までを主な出荷時期として生産されるトマト

※2 平成26年産